

電報

6月 11日

26 060

着信(通過)番号

(サ)

送達

送信

時

分

送信者

照合者

受信

三三 トウキヨウ 一 10 日 七 セ 10050  
 ヤマモトキヨシサマ  
 タカラズカシカワモニチヨウメニ〇一六  
 ニ九ヒ・オオサカヘノメンカイトサシイレヲ・オネガイシマス〔マ  
 ツシタ

この欄の記載順序は次のとおりです。  
 第一行(局用記事)、第二行(種類・字数)、発信局・発信番号(受付日)、受付時刻

電話番号 5697

対話者

30.1.23

般

この電報についてのお問い合わせは配達局へ願います。  
 電報電話局  
 (079) 84-4342

(キンシソ3) M.R. (54年度)

日本電信電話公社

# 山本 裕一郎

言葉で二つの感動を隻身に抱いていつもおもいでいます。

12.17は新潟市に入り、かくしたがた東北は、東北の歌と歌うたる

（小町）、NHK放送（44）の音楽～歌謡曲「歌ふよ」を歌いました。

（12月18日 1.22付）

さて、さつておひこさんとおひこさんと福島官公（1.28）に去る

移住する計画もあり、おひこ（1.31～2.5～2.14～2.21）

の公演期日は（新潟市行徳の市民生と五穀）音楽室（音楽室）

（音楽室）（1.28～3.1～3月上旬止む）と（1.28～3月上旬止む）

、おひこ（1.28～3.1～3月上旬止む）と（1.28～3月上旬止む）

（音楽室）（2月～3月）の期間、大阪で歌うことをおもえます。

（音楽室）（2月～3月）

（音楽室）（2月～3月）

（音楽室）（2月～3月）

(1) 2月3日 小本さんより電話の依頼があり、大阪に3月16日 面会へ打入り  
の調整を手配してやることに、さすがにとて、  
(1月18日(火))

2月18日 六甲へ予約は、午後5時より6時迄の間で30分間の予約

2月18日 13時55分~14時5分

おきなわ 小本さんより連絡して下さい。 (2) 人間関係の問題

一回 説明がありせず、今後 何時何分何時何分 水準で決めて下さい。

(3) その生活費が不足(2~3ヶ月)5万円未満を立てさせて下さい。

(4) 駅セミナーにて、大阪に3月16日 14時~15時15分迄で下さい。

以上 すべての面もご理解しておられたこと、お詫び申し上げます。

ご参考用、内閣府令第34号(小内規ハハニシ) 1968年2月14日施行(予定)

(内閣府令第34号小内規ハハニシ) 1968年2月14日施行(予定)

身体能力は、精神能力は、  
<筋肉><筋肉>と書いたと=32、いたすら31とある

への出発を終り

1985.1.25~

松下 星

3

1.6 大里 諸君へ 振り向く

1.14 お詫び

3月 20日付

小田原市立小学校へ入校式を行つた。

「文芸、2月号の発行は、6月号へと遅延する。」

「この結果へして×同様の仕合を

「次回は元通り3月号が発行される。」

3月17日  
内閣書記官

FUJITSUBO

「宝塚へせよ」と大へしく、ひへじてたまうせん、とある文書下す。